

令和6年度 岩手県立宮古水産高等学校経営計画

校長：伊 東 道 夫

1	校訓・教育目標	勤勉 誠実 進取					
2	スクールのポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	ふるさとを愛し、地域の未来を切り開く人材、専門性を身につけていると共に心豊かな人間を育てる。				
		(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	地域社会と連携し、各学科の特色を生かして地域と共に育てる教育活動を展開する。協働をとおして自己を認識し非認知能力を向上させる。				
		(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	目的意識があり、自らを鍛えて成長したいという気持ちを持っている生徒				
3	魅力化協働パートナー	宮古漁業協同組合、水産研究教育機構水産技術研究所、宮古市地域おこし協力隊など 15 団体					
4	目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標			
			ア 自己肯定感の向上を図り、心身の健康、豊かな人間性を育成する	・「入学以来、人間的に成長したと感じる」と答えた生徒の割合【80%以上】			
			イ 基礎学力の定着を図り、生徒の実態に応じた指導法の工夫・改善を推進する	・授業の内容が身につくよう、わかりやすい授業をしていると答えた生徒の割合【70%以上】			
			ウ 地域と連携・協働を図り、地域の担い手を育成する。	・地域と連携した事業を【10回以上】行う。			
			エ いのちを守る安全教育の徹底を図り、復興支援の取組に積極的に参加する	・いじめ事案に対し、いじめ対策委員会で対応した割合【100%】			
			オ キャリア教育の充実と自立心の向上を図り、個に応じた進路目標達成を実現する	・進路希望達成率【100%】			
			カ 教職員一人ひとりが誇りと使命感にあふれ、風通しの良い職場を作る	・「職員は情報を共有し、一体となって学校経営に取り組んでいる」と答えた教職員の割合【60%以上】			
	(2) 取組方針	ア 自己肯定感の向上を図り、心身の健康、豊かな人間性を育成する (ア) 「挨拶の励行」「整容」等基本的な生活習慣や社会規範の確立を目指す (イ) ボランティア活動等社会貢献活動への参加を奨励する。	イ 基礎学力の定着を図り、個に応じた指導法の工夫・改善を推進する (ア) 読書を習慣づける。また、特別支援教育を含めて生徒一人ひとりにあった「わかる授業」を実践する (イ) これからの時代を意識した実習の充実と資格取得への取組を推進する	ウ 地域との連携・協働を図り、地域の担い手を育成する (ア) インターンシップや現場実習を充実させ、地域産業の良さを理解させる (イ) 船内カリキュラムを充実させ実習船の有効活用を推進する	エ いのちを守る安全教育の徹底し、復興支援の取組に積極的に参加する (ア) 全ての教育活動をとおして、いのちを守る安全教育を実践する (イ) 生徒が主体的に取り組む復興を支援する活動の活発化を図る	オ キャリア教育の充実と自立心の向上を図り、個に応じた進路目標達成を実現する (ア) 教育活動をとおして社会人、職業人として自立できる力を育成する。 (イ) キャリア教育を一層推進し、専門分野への進路実現に向けた指導を充実する	カ 教職員一人ひとりが誇りと使命感にあふれ、風通しの良い職場を作る (ア) チームとしての活動を重視し、情報を共有して常に前向きな意識で新しいことにチャレンジする (イ) コンプライアンスの定期的な取り組みをとおして、教育公務員としての誇りを持ち服務を遵守する